



各 位

平成 22年 5月 18日

会 社 名 若築建設株式会社  
代 表 者 名 取締役社長 福島 章雄  
(コード番号 1888 東証第1部)  
問 合 せ 先 執行役員財務部長 衣 非 勉  
TEL (03) 3492 - 0273

### 業績予想の修正及び特別損失等の発生に関するお知らせ

当社は、最近の業績等を踏まえ、平成21年5月15日に公表した平成22年3月期(平成21年4月1日～平成22年3月31日)の業績予想を下記のとおり修正しましたので、お知らせいたします。

#### 記

#### 1. 業績予想の修正

(単位:百万円)

平成22年 3月期通期連結業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	73,000	1,200	1,300	1,000	8円11銭
今回修正予想(B)	65,449	994	1,436	△ 798	△6円47銭
増減額(B-A)	△ 7,551	△ 206	136	△ 1,798	
増減率(%)	-10.3%	-17.2%	10.5%	-	
(ご参考)前期実績 (平成 21年 3月期)	82,416	92	△ 567	△ 7,881	△63円88銭

平成22年 3月期通期個別業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	71,000	1,100	500	200	1円62銭
今回修正予想(B)	63,395	698	292	△ 2,387	△19円35銭
増減額(B-A)	△ 7,605	△ 402	△ 208	△ 2,587	
増減率(%)	-10.7%	-36.5%	-41.6%	-	
(ご参考)前期実績 (平成 21年 3月期)	79,227	△ 114	△ 880	△ 8,430	△68円34銭

## 2. 修正の理由

### ①(個別業績予想)

売上高につきましては、主に民間建築の選別受注の徹底と民間市場の低迷による完成工事高の減少により、前回予想数値より76億円減少する見込みです。

建設事業につきましては、全社をあげて取り組んでおります中期経営計画に基づく経費削減、原価管理の徹底、不採算工事案件の排除、現場効率化等の施策により工事利益率が上昇いたしました結果、完成工事総利益は、前期より16.9%増の59.6億円となる見込であります。

当社は不動産事業等の市況が低迷する中、販売活動等に注力いたしましたが、売上高、利益額ともに前年度実績を下回る結果となりました。さらに、リーマンショック後の市況の変化による地価の下落により、当社の保有する販売用不動産について、より厳密な評価を行わざるを得なくなりました。

このため、平成22年3月期に当社の保有する販売用不動産について、今後の事業収益性を考慮し、より厳密な方法で評価の見直しを行った結果、販売用不動産評価損を14.6億円計上することとなりました。

販売費及び一般管理費につきましては、中期経営計画に策定いたしました経費削減を順調に行い、前期より大幅な減少となる39億円となる見込みでした。しかし、当社が保有する工事債権等の回収可能性を保守的に見積り貸倒引当金の計上を5.8億円計上いたしましたため、販売費及び一般管理費は前期より6.5%減の45.3億円となりました。

以上の結果から、営業利益は予想数値より4億円減の6.9億円、経常利益が2億円減の2.9億円となりました。

これに、関係会社に対する貸付金への貸倒引当金として6.0億円、保有する固定資産に対する減損損失21.3億円、貸倒損失1.7億円、投資有価証券評価損1.6億円等を加え特別損失33.1億円を計上いたしました結果、平成22年3月期は23.8億円の当期純損失となる予定であります。

### ②(連結業績予想)

個別業績の修正及び、持分法適用会社の業績の影響による修正です。

以 上